



ホタルイ (カヤツリグサ科)

芝谷地のホタルイは水深が五センチから二〇センチぐらいのところに群生しています。夏になると細い円柱の茎の頂に花穂をつけますが、花に似た苞(葉の変形物)が茎に側生しているので花が茎の途中にあるように見えます。

カヤツリグサ科は大変種類の多い科で、芝谷地だけでも三十種ほど自生しています。これらの植物は水田の周辺などにも見られ、香りがリンゴにそっくりなのでリンゴグサと呼び、子供のころ、ざるや畳を編むまねごとをして遊んだものです。

なぜ名前がホタルイなのか不明ですが、夏のころの花穂がまだ黄色で、私にはたくさん蛍が光を放っているように見えるので(写真はそのころの撮影)そう呼ばれるのではないかと思えます。 文・菅原キサ 写真・山田政一

編集後記

□今号には「いざ地震が発生したら」という記事を掲載しましたが、皆さんはいざというときどのような行動をするのでしょうか。私はまず自分を含めた家族のことを考えると、私にはまずこれを機会にじっくり我が家の防災を考えてみたいと思います。(ま)

□表紙のとおり爽やかな秋を迎え稲刈りが始まりました。秋晴れの下で汗をかき、農作業をするのも気持ちがいいものですが、十月に入り雨の日が多く、この原稿を書いている段階ではなかなかはかどっていないようです。これからの行楽シーズンは、すっきりした天気になって欲しいものです。(咲)

□「がんばろう神戸」の文字をユニフォームのそでに、そして心に刻んだプロ野球のオリックスブルーウェーブが、ついにリーグ優勝。神戸市民の復興への巨大なパワーを一身に受け、運命づけられていたがごとく圧倒的な快進撃。ファンならずとも心動かされます。おめでどうオリックス。おめでどう神戸。(ゆ)

● 広報おおだて 平成7年10月16日号(No639)

発行/大館市 〒017秋田県大館市宇中城20番地

☎ 0186-49-3111

編集/総務部総務課広報広聴係(内線258)

● 広報おおだては再生紙を使用しています。